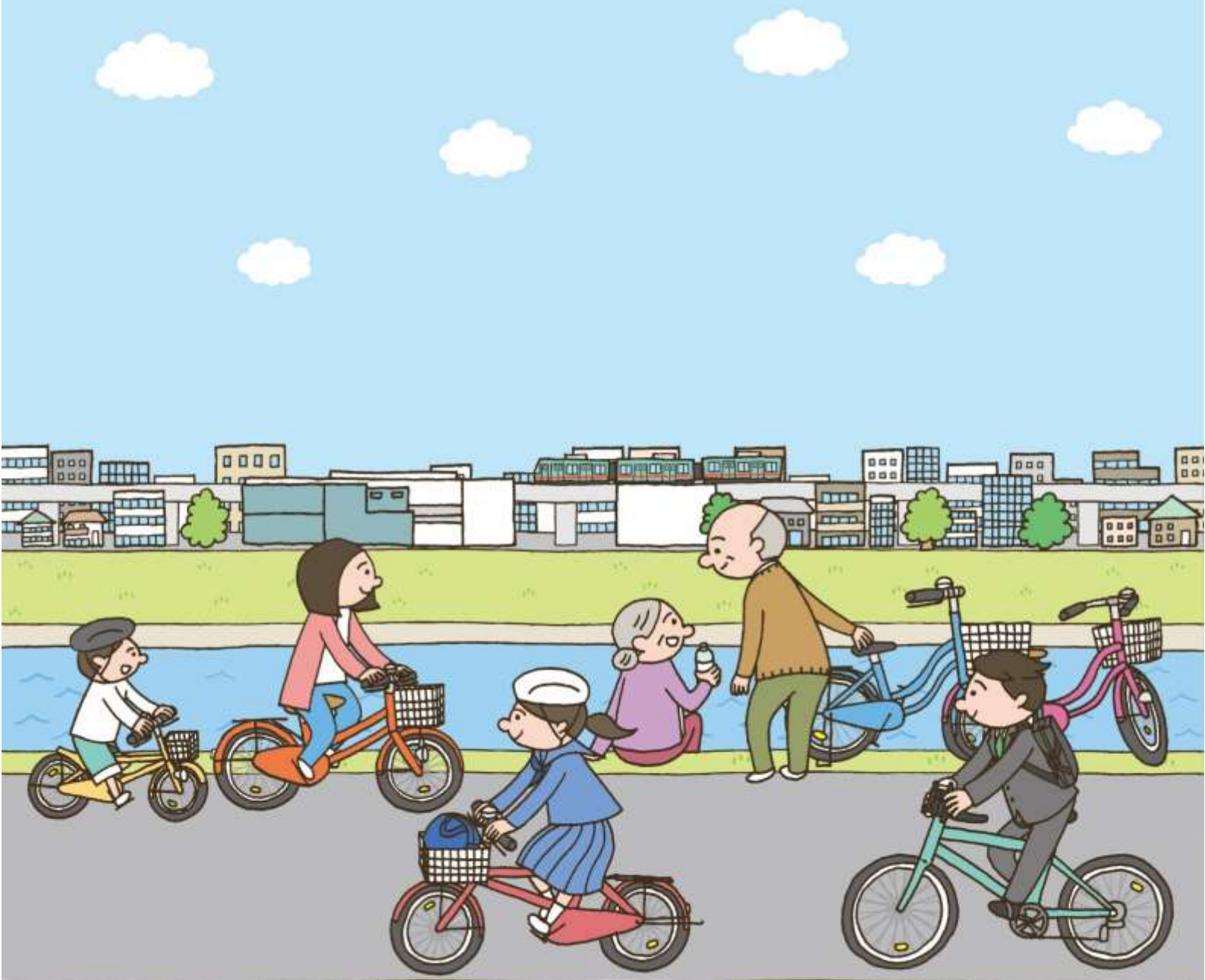


# 大野城市自転車活用推進計画



大野城市  
令和4年3月



# はじめに

自転車は通勤・通学や買い物など、身近で便利な移動手段として多くの市民の皆様にご利用されています。

近年では、環境負荷低減の意識や健康志向の高まりなどを受けて、自動車からの転換が期待されるとともに、新型コロナウイルスを契機とするニューノーマル時代において、三密回避に適した移動手段として注目されるなど、自転車を取り巻く社会情勢は大きく変化しております。

一方で、自転車事故による高額な損害賠償事例の発生を背景に、利用者が安全で快適に走行するための道路空間の構築や正しい交通ルールの普及・啓発など、利用環境の整備や利用者のさらなる意識改革が求められています。

これらの動向を踏まえ、本市の地域特性に応じた施策を掲げ、自転車活用を総合的かつ計画的に推進するため、「大野城市自転車活用推進計画」を策定いたしました。

令和4年4月に市制施行50周年という節目を迎える本市は、鉄道インフラや幹線道路などに恵まれ、古くから交通の要衝として発展してまいりました。そして、8月には、西鉄天神大牟田線雑餉隈～下大利駅間の高架切替えが完了し、地域の分断が解消され、まちの姿が大きく変わろうとしています。本計画に基づき、自転車を新たな交通体系を担う移動手段の一つとして確立するとともに、地域の回遊性向上やにぎわい創出のためのツールとして活用するなど、自転車の持つ機能を多角的に展開し、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

本計画の推進にあたりましては、市民の皆様をはじめ、関係機関・団体各位のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、本計画の策定に当たり、大野城市自転車活用推進計画策定協議会委員をはじめ、貴重なご意見・ご提言を賜りました皆様に、改めまして心からお礼申し上げます。

令和4（2022）年3月

大野城市長 井本宗司



# もくじ

<b>第1章 計画策定の趣旨</b>	<b>1</b>
1-1 計画策定の背景と目的	2
1-2 計画の位置付け	2
1-3 自転車の活用によるSDGsへの寄与	3
1-4 「ゼロカーボンシティ 大野城」宣言とのつながり	4
1-5 計画期間	4
<b>第2章 自転車利用の現状と課題</b>	<b>5</b>
2-1 大野城市の地域特性	6
2-2 自転車利用環境の現状	13
2-3 自転車関連事故の発生状況	20
2-4 自転車損害賠償保険等の加入状況	22
2-5 市民の健康づくり	23
2-6 自転車を活用したにぎわいづくりの状況	26
2-7 自転車利用環境に関する市民の意向	28
2-8 災害時における自転車活用	29
<b>第3章 自転車活用推進のための施策</b>	<b>31</b>
3-1 自転車活用推進に向けた目標と施策の方向性	32
3-2 自転車利用の現状と課題に対する目標の整理	33
3-3 施策の方向性と具体的な取り組み	34
目標1 自転車を快適に利用できるまちづくり	34
1. 快適な自転車通行空間の整備	34
2. 地域特性に合わせた駐輪場の整備	35
3. 路上放置自転車対策の強化	36
目標2 自転車を活用した健康づくり	37
4. 健康づくり事業の推進	37
目標3 自転車を活用したにぎわいづくり	38
5. シェアサイクル等の導入	38
6. 自転車に関するイベントの実施	38
7. 自転車による周遊ルートの設定と情報発信	39
目標4 自転車・歩行者・自動車が安全に通行する社会づくり	40
8. 交通安全教育の拡大推進	40
9. 自転車保険の加入促進	43
10. 自転車点検整備の推進	44
11. 災害時の自転車活用	45
3-4 年間スケジュール	45

<b>第4章</b>	<b>自転車ネットワーク計画</b>	<b>47</b>
4-1	自転車ネットワーク計画の目的	48
4-2	自転車ネットワークの範囲の設定	48
4-3	自転車ネットワークの路線選定	49
4-4	大野城市自転車ネットワーク	50
4-5	整備形態の基本的な考え方	52
4-6	各整備形態の設計方法	54
4-7	自転車ネットワークの整備形態（完成形態）	59
<b>第5章</b>	<b>自転車等駐車場整備計画</b>	<b>61</b>
5-1	自転車等駐車場整備計画の目的	62
5-2	鉄道駅周辺の駐輪場	62
5-3	将来の駐輪需要量の推計	63
5-4	駐輪場立地の考え方	65
5-5	各駅駐輪場の整備方針	66
5-6	課題の整理	72
5-7	課題解決に向けた民間活力の活用	72
<b>第6章</b>	<b>計画の推進に向けて</b>	<b>73</b>
6-1	指標の設定	74
参考資料		75



